

予算特別委員会審査から

2月27日

命守れないコスト優先の児相運営やめよ
行財政局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

先日、神戸市子ども家庭センター（児相）で、未明に助けを求め訪れた小学生を追い返すという、あってはならない事案が発生しました。この問題の根底には、行財政局が進めてきた、市民福祉サービスの切り捨てや民間委託などの行財

神戸市では水道料金滞納による給水停止が2018年度4922回おこなわれています。水道水は、命の水と言われるように、市民の健康や生命に直結するライフラインであり、安易な給水停止は極めて危険です。東京都ではこの2月に給水停止による死亡事例が出ています。

厚生労働省からの通知では、機械的な給水停止を戒め、滞納があれば水道事業者側から積極的に働きかけて支援が受けられるよう、福祉部門につなぐことを努力義務としています。大かわら議員は、この通知にもとづいた具体的な対応を求めました。

1. 市政改革について
● 子ども家庭センターについて
● 保健福祉局障がい支援課問題
2. 組織再編について（企画調整局）

質疑項目

政改革で、夜間休日の窓口業務を民間NPO法人に外部委託したことがあります。味口議員の調査では、委託先のNPO法人とは366日・6836時間、673万円で契約され、時給に換算すると最低賃金以下であり、さらに「有償ボランティア」という扱いで「謝礼」として支払われていたことが明らかになりました。味口議員は、「コスト削減のために外部委託したことで、命を守るための体制の危うさを端的に示した事案だ」とし、外部委託は間違いであったことを認め、直ちに必要な人員を配置し改善するよう強く求めました。

答弁ダイジェスト

遠藤局長：結果を生んだ原因は子ども家庭局で検証し、外部内部関係なく業務内容を示していく必要がある。

1. 直結給水化の促進について
2. 水道使用料金滞納等による給水停止について
3. 給水スポットの設置について

答弁ダイジェスト

安東センター所長：通知を受けて、保健福祉局と連携を再度協議している。未納整理業者にもくらし支援窓口のチラシの配布など協力を要請している。

大かわら議員：実際に年5000回の給水停止がある。連携が具体的にどのように行われているのか。

安東センター所長：訪問、面談で接触

味口議員：最低賃金以下で働かせていたことに「おかしい」とも言えない人が「働き方改革」など進められるはずなどない。行財政局がこの間、「人件費を節約する方策を検討する」と外部評価をさせて行財政改革（外部委託）を進めたためにこのような事案につながった。責任を感じないのか。

遠藤局長：市民の税金で運営しているからコスト計算は大事だ。

味口議員：責任のない答弁だ。命を守る現場まで外部委託で担わなければいけない状況に追い込んだ責任を認め、子ども家庭局に必要な人員を配置できるよう指示するべきだ。

2月27日

水はライフライン
命の連携を確実に！
水道局審査で大かわら議員



質問する大かわら鈴子議員

できない、情報がいただけない世帯には一度給水を停止して反応をみることも必要と思っている。

大かわら議員：実際に亡くなった方もいらっしゃる。きちんと把握をして、一緒になって連携をすすめていただきたい。

ご視聴ください

松本のり子議員が一般質問

日時 3月27日(金) 13時50分頃から 場所 市議会本会議場

* 新型コロナウイルスの屋内における感染防止の観点から、インターネット中継もご利用ください。(神戸市のホームページよりご視聴いただけます)

2月28日

25億円も投入する空港 連絡橋の4車線化は中止を 港湾局審査で西議員



質問する西ただす議員

神戸市は神戸空港島とポートアイランドを結ぶ連絡橋「神戸スカイブリッジ」(1187メートル)を、25億円もの巨費を

神戸市は、人口減少対策の第2弾として、名谷・垂水・西神中央駅周辺の市有地を提供して民間のタワーマンションを建設し若年世帯の呼び込みを計画しています。しかし、過去に名谷に大規模マンションが建設された際、入居者の7割が近隣からの転居でした。味口議員は「これでは人口減少対策になっていない。『駅前のタワーマンションではなく、歩いて行ける近所のスーパーを充実してほしい』という名谷住民の方の声を紹介し、住民に寄りそう長期的な視点でのまちづくりこそが市民の願いだと再開発計画を批判しました。

3月2日

公営の強み生かし 市民のための公共交通を 交通局審査で朝倉議員



質問する朝倉えつ子議員

神戸市は北神急行の市営化に伴い、この6月から谷上～三ノ宮間の運賃を現行540円から280円に値下げします。一方で、既存の64系統は5本減らされます。地元の自治会からも減便反対の声が上がり、今回の審査にも陳情者が出され「高

1. 新型肺炎の影響と対策について
2. 高潮・津波対策について
3. 空港連絡橋の4車線化は見直すべき
4. ウォーターフロント地区の再開発はやめるべき

質疑項目

投入して現在の片側1車線から2車線に拡幅し、4車線化する計画をたてていません。将来的な交通量増加に対応するためとしていますが、神戸空港が開港して14年、空港島に張り付いた企業は87ヘクタール中、約20ヘクタールほどで、この先も渋滞するほど企業が張り付く保証はありません。西議員は「将来の交通量予測の根拠もはっきりしない非常に怪しい計画で見直すべきだ」と迫りました。

答弁ダイジェスト

西議員：現在、橋で渋滞は起こっているのか。

質疑項目

1. 名谷・西神中央・垂水駅周辺の再開発について
2. 都心や駅付近のオフィスビル建設に対する税軽減について
3. バス路線の廃止・縮小について

答弁ダイジェスト

鈴木技術担当局長：タワーマンションという想定はしていない。子育て応援施設と合わせて整備することで市外からも移って来ていただける。

味口議員：来年度の3駅前の住宅供給戸数2000戸に対し、空き家対策は217戸だ。先日の本会議で副市長が「マンションにどんどん住んでくださいという施策ではない」と答弁した。矛盾している。

鈴木技術担当局長：(副市長の答弁の)意味は理解できないが、(この計画

1. 64系統減便について
2. 市バス配置基準の策定に向けた検討について
3. 市バス営業所の管理委託について
4. 交通局所有地の売却について

質疑項目

い運賃を払い続けてきて、減便されて不便にされ、北区の中でも格差をつけるのか」と切実な声が届けられました。朝倉議員は住民に便利な64系統減便はやめるべきと求めました。

また2020年2月に出された包括外部監査結果報告書では市バス営業所は「(民間)管理委託に頼り切った経営」と指摘され、人材不足についても「今後10年間で定年退職により職員が半分」になり、「中長期の計画的な雇用計画が必要」「神戸市は必要性を認識しつつも、着手

田中計画部長：神戸空港利用の特性から特異な交通体系になっている。朝は南行きが、夜は北行きが多く、このピーク時に非常に一方向の交通量が増える。昨年度と比べると利用者数がかなり伸びている。都心から近く便利な空港という評価をいただいている。渋滞によってなかなか行けないということにならないようにしたい。

西議員：この橋が不便だという声は全然聞かない。先ほど万博で増えるということも言われたが、万博も一時的なもので、渋滞するかどうか分からないのに25億円も投入するのはおかしい。市民が納得しない。

2月28日

まちを衰退させる 駅前再開発は撤回を 企画調整局審査で味口議員



質問する味口としゆき議員

は)間違いなく住宅の流動化には寄与するものと考えている。

味口議員：「団地が古くエレベーターがない、空き家が増えて心配」「これ以上の高層マンション建設は駅を一步出れば息苦しくさせる」これが住民の想いだ。その状況を放置し、見違えるどころか衰退させるようなまちづくりは反対だ。

にはいたっていない」と指摘されました。

これまで、交通局が、直営から委託へと人件費を削減してきた、市民によりそわない姿勢があらわれています。これまでも朝倉議員は委託先の運転手がまともに休息もとれない劣悪な実態を示し、労働環境の改善を求めてきました。外部監査が指摘する「雇用計画をどのように考えて改善するつもりか」質しました。

答弁ダイジェスト

内藤自動車部長：雇用計画が必要と認識している。

朝倉議員：公営企業は市民の福祉向上のため、民間ではできない、必要な所には予算措置をとるべき。根拠のない安易な委託はやめていただきたい。